

神楽を通して地域を知る、共に成長できる場所を作っていく

神楽と書道で赤磐の未来を創る会

活動の目的

子供たちの「好き」を大切に、自ら発案し実行できる場所を作る。

実践していく中で子供たちが各々に輝けるように、大人たちが支援していける環境を作る。

支援する側も、共に成長できる場所にする。

自分たちの住んでいる赤磐を知る。

上記をコンセプトに、赤磐の地域資源である「血洗いの滝」「石上布都魂神社」「素戔鳴神社」の共通項である神楽神話を元に子供たちがストーリーを作り、演舞と書道パフォーマンスを創作発表する。

活動の内容及び経過

- 6月13日 備中神楽北山社神楽師 鳥越孝太郎氏から神楽の歴史を講説いただく
- 6月20日 山蔭流創作神楽宗家 表博耀氏から神楽の必要性について講説いただき、神楽の基礎となる動きを教えていただく。
- 8月20日 衣装打ち合わせ
- 8月30日 全体会議
- 9月10日 衣装採寸等
- 10月12日 支援側会議
- 10月18日 赤磐視察（コロナで施設等を借りれなかったことと、演舞の中で葡萄などの赤磐特産品もあることから、赤磐視察）その後、会議
- 10月21日 会議
- 11月5日 設営について打ち合わせ
- 11月9日 全体練習
- 11月15日 全体練習
- 11月22日 桜ヶ丘一丁目集会所にて発表会

活動の成果・効果

コロナ禍で、思うようにスケジュールが遂行できなかった。集まることもままならない状態だったので、子供たちのやる気を持続させることが核になったと思う。

先が見えない中でも、「一度やると決めたからする」という子どもたちの意志の強さに押され11月22日の創作発表会を迎えることができた。

5歳・小学2年・小学5年から中学2年生までの小人13人と大人2人で演舞と書道パフォーマンスを披露した。

練習時間もない中で望んだ本番だが、自分たちが今できることを出せたので達成感があった。コロナ感染が懸念されたのであまり告知できなかったが、御来場いただいた方



6月20日表氏による講義



10月18日赤磐視察の様子



11月22日の発表会神楽の様子



11月22日発表会書道Pの様子

からは、「幻想的でよかった。また見たい」との声があった。

子供たちからは「自分たちがアイデアをだし来年はまた違った形のを創生していきたい」という意見があった。当初のコンセプトである自ら発案し実行できる場所を作っていく足掛かりができたように思える。

今後の課題と問題点

子どもたちが、アイデアを出しそれを遂行していける環境づくりを考えていく必要がある。

そして、それを指導・支援していただける人たちを増やしていくことが課題である。

- 代表者：三浦和恵 ●所在地：赤磐市桜ヶ丘西
- TEL：086-956-0564 ●E-MAIL：salansyodou@icloud.com
- 設立年：2019年 ●メンバー数：16名